

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-123773 (P2004-123773A)

【公開日】平成 16 年 4 月 22 日 (2004.4.22)

【年通号数】公開・登録公報 2004-016

【出願番号】特願 2002-285493 (P2002-285493)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 77/00

C 0 8 G 69/02

C 0 8 J 5/00

C 0 8 K 5/098

C 0 8 K 5/10

C 0 8 K 5/20

【F I】

C 0 8 L 77/00

C 0 8 G 69/02

C 0 8 J 5/00 C F G

C 0 8 K 5/098

C 0 8 K 5/10

C 0 8 K 5/20

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 7 日 (2005.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ポリアミド 6 6 (ヘキサメチレンアジパミド) 単位 9 0 ~ 9 9 . 9 重量 % とポリアミド 6 (カプロアミド) 単位 0 . 1 ~ 1 0 重量 % とからなり、かつ末端がモノカルボン酸あるいはモノアミンで 1 ~ 7 0 (ミリ当量 / K g) 封鎖されている共重合ポリアミド (A) 1 0 0 重量部に対して、高級脂肪酸金属塩、高級脂肪酸エステルおよび高級脂肪酸アミド化合物から選ばれる少なくとも 1 つの成形性改良剤 (B) 0 . 0 1 ~ 1 重量部を含有することを特徴とする共重合ポリアミド樹脂組成物。

【請求項 2】 ポリアミド 6 6 原料 9 0 ~ 9 9 . 9 重量 % およびポリアミド 6 原料 0 . 1 ~ 1 0 重量 % からなるポリアミド原料と、該ポリアミド原料 1 0 0 重量部に対して 0 . 0 0 7 ~ 0 . 4 重量 % のモノカルボン酸あるいはモノアミンからなる共重合ポリアミド原料を配合して重縮合を行い、共重合ポリアミド (A) を得、該共重合ポリアミド 1 0 0 重量部に対して高級脂肪酸金属塩、高級脂肪酸エステルおよび高級脂肪酸アミド化合物から選ばれる少なくとも 1 つの成形性改良剤 (B) 0 . 0 1 ~ 1 重量部を含有させることを特徴とする共重合ポリアミド樹脂組成物の製造方法。

【請求項 3】 更に銅化合物とハロゲン化銅以外のハロゲン化合物を共重合ポリアミド 1 0 0 重量部に対して 0 . 0 1 ~ 1 重量部含有することを特徴とする請求項 1 記載の共重合ポリアミド樹脂組成物。

【請求項 4】 請求項 1 又は 3 に記載の共重合ポリアミド樹脂組成物から得られることを特徴とする射出成形品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(2) ポリアミド66原料90～99.9重量%およびポリアミド6原料0.1～10重量%からなるポリアミド原料と、該ポリアミド原料100重量部に対して0.007～0.4重量%のモノカルボン酸あるいはモノアミンからなる共重合ポリアミド原料を配合して重縮合を行い、共重合ポリアミド(A)を得、該共重合ポリアミド100重量部に対して高級脂肪酸金属塩、高級脂肪酸エステルおよび高級脂肪酸アミド化合物から選ばれる少なくとも1つの成形性改良剤(B)0.01～1重量部を含有させることを特徴とする共重合ポリアミド樹脂組成物の製造方法、

(3) 更に銅化合物とハロゲン化銅以外のハロゲン化合物を共重合ポリアミド100重量部に対して0.01～1重量部含有することを特徴とする請求項1記載の共重合ポリアミド樹脂組成物、

(4) 上記(1)か上記(3)のいずれかに記載の共重合ポリアミド樹脂組成物から得られることを特徴とする射出成形品、
である。